

令和6年 業種別労働災害発生状況

(令和6年10月末現在)

苫小牧労働基準監督署

業種別	区分	令和6年				令和5年				対前年		業種割合
		死亡	休業 4日 以上	合計	転倒 災害	死亡	休業 4日 以上	合計	転倒 災害	増減 数	増減 率	
	全産業合計	(1) 1	(19) 456	(20) 457	128	(1) 3	(17) 480	(18) 483	100	-26	-5.4	100.0
	除く鉱業計	(1) 1	(19) 456	(20) 457	128	(1) 3	(17) 480	(18) 483	100	-26	-5.4	100.0
	製造業		(3) 80	(3) 80	19		(1) 86	(1) 86	19	-6	-7.0	17.5
内 訳	食料品		(1) 32	(1) 32	9		33	33	12	-1	-3.0	7.0
	木材木製品		6	6	1		5	5		1	20.0	1.3
	紙・パルプ		(1) 4	(1) 4	1		4	4				0.9
	窯業・土石		5	5	1		8	8	2	-3	-37.5	1.1
	金属・機器		13	13	3		11	11		2	18.2	2.8
	輸送用機械		6	6	2		5	5		1	20.0	1.3
	その他		(1) 14	(1) 14	2		(1) 20	(1) 20	5	-6	-30.0	3.1
	鉱業											
	土石採取		3	3			1	1		2	200.0	0.7
	建設業		46	46	7		(4) 27	(4) 27	3	19	70.4	10.1
内 訳	土木工事業		8	8	1		8	8				1.8
	建築工事業		25	25	5		(2) 10	(2) 10		15	150.0	5.5
	木造建築業		7	7			4	4	2	3	75.0	1.5
	その他の 工事業		6	6	1		(2) 5	(2) 5	1	1	20.0	1.3
	道路貨物運送業	(1) 1	(5) 47	(6) 48	12		(4) 77	(4) 77	9	-29	-37.7	10.5
	その他の運輸業		(2) 20	(2) 20	6		(2) 16	(2) 16	5	4	25.0	4.4
	陸上貨物取扱業		6	6	1		2	2		4	200.0	1.3
	港湾荷役業		9	9			6	6	1	3	50.0	2.0
	林業		1	1		1	4	5		-4	-80.0	0.2
	漁業											
	卸売・小売業		(1) 47	(1) 47	23		39	39	15	8	20.5	10.3
	清掃業		27	27	12		16	16	6	11	68.8	5.9
	ゴルフ場		7	7	3		6	6	3	1	16.7	1.5
	その他の事業		(8) 163	(8) 163	45	(1) 2	(6) 200	(7) 202	39	-39	-19.3	35.7

本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計した速報値であり、修正することがあります。

()内は交通事故で内数です。

転倒災害は内数です。

令和6年 業種別労働災害発生状況（その2）

「その他の事業」の内訳

（令和6年10月末現在）

区分 業種別	令和6年				令和5年				対前年		業種割合
	死亡	休業 4日 以上	合計	転倒 災害	死亡	休業 4日 以上	合計	転倒 災害	増減 数	増減 率	
農 業		12	12	6		13	13	3	-1	-7.7	2.6
畜 産 業		38	38	4		46	46	8	-8	-17.4	8.3
理 美 容 業											
その他の 商 業		4	4	2	1	1	2		2	100.0	0.9
金融・広告業		(1) 3	(1) 3	2					3		0.7
映画・演劇業											
通 信 業		(1) 8	(1) 8	1		(3) 8	(3) 8	2			1.8
教育・研究業		1	1	1		2	2	1	-1	-50.0	0.2
保健・衛生業		57	57	15		(1) 102	(1) 102	16	-45	-44.1	12.5
飲 食 店		(1) 13	(1) 13	1		9	9	5	4	44.4	2.8
その他接客娯楽業 (除くゴルフ場)		7	7	4		7	7	3			1.5
その他の 事 業		(5) 20	(5) 20	9	(1) 1	(2) 12	(3) 13	1	7	53.8	4.4
合 計		(8) 163	(8) 163	45	(1) 2	(6) 200	(7) 202	39	-39	-19.3	35.7

令和6年 死亡災害発生状況

(令和6年10月末現在)

苫小牧労働基準監督署

件数	発生月	発生時間	事業の種類	規模	災害の種類	起因物	災害発生状況の概要
1	8	10時台	運送業	~100人	(交通路事故)	トラック	被災者は、古紙を運ぶためトレーラーを運転中、左急カーブを曲がり切れずに、路外に逸脱し横転したもの。 被災者は、トラクターヘッドの運転席内に閉じ込められ、約4時間後に救出されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。

過去10年間の死亡災害発生状況

発生年	26	27	28	29	30	令元	2	3	4	5	合計
死亡件数	8 (4)	9	5 (2)	9	4	3	2 (2)	5	5 (1)	4 (1)	54 (10)

死亡件数欄のカッコ内の数字は交通事故の件数で内数



1 交通事故の防止について

輸送繁忙期を迎える中、交通事故の発生が懸念されます。
特に日没時間が早まるこの時期、エゾシカとの衝突事故に注意してください。
早めのライト点灯、スピードダウンを心掛けましょう。
また、冬タイヤへの交換も計画的に進めましょう。



2 建設工事追い込み期労働災害防止運動について

北海道における建設業の労働災害は、例年追い込み期に当たる10月から12月に多発する傾向にあります。
このため、本年度も10月1日から12月31日までを「建設工事追い込み期労働災害防止運動」として実施します。
運動期間中に取り組むべき重点事項を確認していただき、特に三大災害（墜落・転落、重機災害、崩壊・倒壊）防止に取り組みましょう。



3 転倒災害防止について

全国的に業務中の転倒災害が多発しており、特に50歳以上の労働者を中心に、転倒による骨折等の労働災害が増加し続けております。
右のQRコードのリンク先に掲載しているリーフレットを活用し、対策を推進しましょう。



関連するリーフレットを掲載しているホームページへのリンク先のQRコードを右脇に示しています。確認の上、取組の参考としてください。